

スマホ表示

写真比率修正（①～⑤）

「リハビリプラン」文字被り修正

①

によって異なりますが、可能であれば午前・午後と1日2回実施します。内容は理学療法士による徒手的な介入のみでなく、患者さん自身が行う運動もリハビリ室内で行い、フォームなど動作も指導していきます。



6:30	起床
7:00	
8:00	朝食
9:00	
10:00	リハビリ 検温
11:00	

日曜・祭日の
面会時間
10:00～20:00

②

メニューを指導していきます。通院でのリハビリはご自宅での過ごし方がとても大切です。生活上の注意点や負担軽減の方法を指導し、通院時のリハビリだけでなく、ご自宅で行っていただけるよう自主トレーニングを指導します。

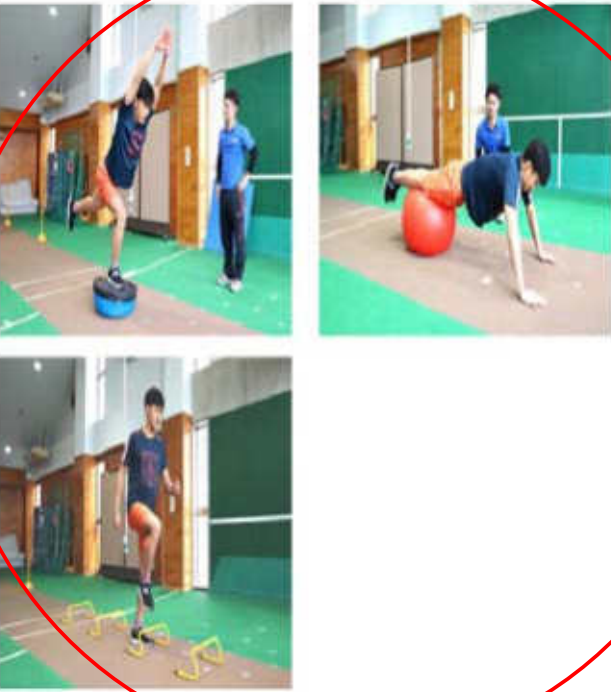


アスレティックリハビリテーション

当院にはスポーツ選手やスポーツ愛好者の患者さんも多く来院されており、野球・サ

③

選手のスポーツ復帰においては再発しないよう、更なるパワーアップを目指し、スポーツ特性を考えた専門的なアプローチを行っています。



23

片尾 直優 (18)
SATA高校バスケットボール部 (3年)
試合中に前十字靱帯を損傷 (術後)

④



23

片尾 直優 (18)
SATA高校バスケットボール部 (3年)
試合中に前十字靱帯を損傷 (術後)

手術

膝関節
可動域改善
大腿の
筋力強化

傷害につながる
身体機能の改善
バランス能力向上
股関節の
可動域向上

患部機能
改善

ジム

⑤

BIODEX（筋力測定装置）

定量的に筋力を測定することができ、筋力の回復程度や競技復帰の目安として使用しています。



リハビリテーションスタッフ

 福井 直亮

タブレット横幅 768px 時
「ン」が改行されないよう修正

スマホ表示

改行の見え方を修正 (①、②)



トップページ > 診療案内 > リハビリテーション

診療案内

診療に関するお知らせ

医師紹介

整形外科

形成外科

手術実績

スポーツ専門外来

こどもスポーツ専門外来

レベルアップスクール

ラン&ウォーク外来

院長と歩こう in 西の堤池

外来（通院）リハビリテーション

自宅での生活環境や仕事内容など、問題点は患者さんによって様々です。個々の明確な目的・目標をしっかりと立てて、それに向けてより適した治療を選択しています。

理学療法士による徒手治療（可動域訓練やストレッチなど）や電気治療などの物理療法、再発予防や姿勢改善などを目的とした筋力強化など、患者さんの状態に応じてメニューを指導していきます。

通院でのリハビリはご自宅での過ごし方がとても大切です。

生活上の注意点や負担軽減の方法を指導し、通院時のリハビリだけでなく、ご自宅で行っていただけるよう自主トレメニューを指導します。



軽めの負荷で筋肉をリラックスさせて反復運動を行うことで、筋肉の柔軟性を高め各関節を動きやすくする、機能的に動かせるようにするマシンです。

主に肩甲骨・股関節・骨盤周辺を動かすことを目的としています。

肩こり・腰痛など慢性疲労の改善、姿勢の改善、柔軟性アップ、リラックスなどの効果があります。

また関節の可動範囲が広がることで動きやすくなり日常生活動作の改善、スポーツ、パフォーマンス動作の改善につながります。

フィールド

患部の回復だけではなく再発を予防することがリハビリの目標です。